

平成30年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市勝沼農業農村情報連絡施設（勝沼CATV施設）				作成日	令和1年7月4日		
	所管課 担当名	政策秘書課 政策調整担当		課長名	町田 幸一	作成者名	風間 一志		
	指定管理者	名称	勝沼CATV 株式会社						
		代表者	代表取締役 佐藤 榮也						
		所在地	山梨県甲州市勝沼町上岩崎411番地						
		指定期間	平成28年4月～平成33年3月(令和3年3月)						
	管理施設の 概要	施設所在地	山梨県甲州市勝沼町勝沼756番地1						
		設置目的	甲州市勝沼地域の農業、行政等の情報発信を行うことにより、産業振興、地域文化及び市民福祉の向上に寄与するため、情報連絡施設を設置する。						
		利用者	勝沼地域のサービス加入者	施設管理 体制	5名	開館日 時間等	8:30～17:15(平日) 8:30～12:00(土曜) ※日祝日・年末年始・臨時休業を除く		
	事業概要	サービス提供の内容							
指定 管理 業務		(1) 農業生産の向上を図るために必要な情報の収集伝達 (2) 生産、消費、流通等、市民の経済生活に関する情報の収集伝達 (3) 市民の教育、文化及び福祉の向上に必要な情報の収集伝達 (4) 市政における広報事項の伝達及び広聴活動 (5) 災害時等における緊急情報の伝達 (6) 放送法(昭和25年法律第132号)に定める放送局のテレビジョン放送及びFM放送の同時再送信 (7) その他必要と認められる情報の収集伝達							
	自主 事業	(1) 自主企画事業の実施及び放映 (2) 自主放送番組のDVD販売							
DO	管理運営コスト推移 (千円)		平成28年度 (指定期間1年目)	平成29年度 (指定期間2年目)	平成30年度 (指定期間3年目)	平成31年度 (指定期間4年目)	平成32年度 (指定期間5年目)		
	予算	指定管理料	0	0	0	/	/		
		利用料金収入	57,000	71,000	70,000				
		その他収入	27,800	25,930	24,820				
		売上原価	34,000	36,600	32,454				
		管理運営経費	49,351	59,088	60,115				
	決算	指定管理料	0	0	0				
		放送事業収入	57,009	72,531	72,215				
		その他収入	25,412	24,475	25,856				
		売上原価	35,827	33,246	33,794				
		管理運営経費	46,430	53,407	52,199				
	収支	164	10,353	10,080					
	施設の稼働状況		平成28年度 (指定期間1年目)	平成29年度 (指定期間2年目)	平成30年度 (指定期間3年目)			平成31年度 (指定期間4年目)	平成32年度 (指定期間5年目)
	指標	ケーブルテレビ加入者(人)	2,813	2,801	2,792				
		インターネット加入者(人)	562	560	550				
活動結果		・地上デジタル放送(13チャンネル)、衛星放送(9チャンネル)を放送した。 ・気象情報チャンネルのハイビジョン化に対応するため機器の更新を行い、チャンネルを利用しての気象情報以外の放送も行った。 ・自主事業として、地域の行事を中心に取材を行い、地域に密着した放送番組を制作し放送した。 ・定期的に機器の保守点検を実施し、良好で安定した電波の送信に努めた。							
CHECK	評価観点		評価 (5 4 3 2 1) 高→低	評価の説明					
	(1) 事業の運営		4	・仕様書及び協定書のとおり適切に事業が運営されている。 ・地域密着の番組を制作し放送し、地域住民の身近な情報として収集伝達されている。また機器の更新し、気象情報チャンネルを利用してのスポーツ大会などの放送を行うなど、利便性の向上に努めている。					
	(2) 施設の維持管理		4	・定期的な保守点検を実施し安定稼働に努めている。また通信事故の防止対策の一環として予防保全型の維持管理を行い設備等の長寿命化に努めている。 ・指定管理者の負担により機器の修繕及び更新を行っている。					
	(3) 収入支出		4	・利用料金値上げにより、放送事業収入を増やすとともに、予防保全型の維持管理を行い年間の管理経費を平準化させるなど創意工夫を行う中で安定的な経営に努めている。 ・純利益を確保し、将来の設備更新の積み立てを行っている。					
	(4) 総合評価			総合評価の説明(施設所管課による一次評価)					
優良 良好 妥当 要改善 不適		良好		・仕様書及び協定書に基づき適切に管理運営が実施されている。地域密着型の自主番組放送を行い、地域住民に親しまれている。また勝沼CATVだよりを発行し、番組紹介なども行っている。 ・放送事業収入を増やし年間の管理経費を平準化させることで、安定的な利益を確保し、光ケーブル設備更新のための資金を積み立てることができている。					
平成30年度評価結果に対する今後の対応									
ACTION	当面の課題	・事業譲渡契約書や事業譲渡契約書に付随する覚書をもって平成31年4月1日に甲州市から勝沼CATV株式会社へ事業譲渡を行った。 ・事業譲渡に伴い、利用者に影響がでないよう勝沼CATV株式会社と連携して引継ぎを行っていく必要がある。							
	課題解決への対応	・勝沼CATV株式会社から提出された事業譲渡に係る事業計画が着実に実施されているか注視していく。 ・効率的な管理運営を行うため、同業者や委託業者との連携・協力を図りながら経費の削減に努めるよう求めていく。							
二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)									
・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営し、利用者サービスの向上に努めている。 ・設備の修繕及び更新は、指定管理者の負担で行っており、市への貢献度は高いと評価できる。 ・事業収益を確保し、将来の設備更新に備えて積み立てを行っており、健全に事業が運営されている。 ・平成31年4月1日をもって市から事業の譲渡を行ったが、引き続き、地域住民へ情報発信を行い、地域文化や市民福祉の向上に努めていただきたい。									